

埼玉
から

憲法・暮らしを守り、 原発ゼロを実現する議席を

安倍政権の暴走政治にストップ!

参議院埼玉選挙区候補

伊藤岳

いとう・がく

プロフィール

1960年川口市生まれ。草加市立栄中学校・県立越ヶ谷高校・文教大学卒業。民主青年同盟埼玉県委員長、党さいたま地区副委員長など歴任。現在、党県常任委員・県民運動委員長。「原発ゼロ」ツイッターデモ運動に奔走中。



安倍政権は、国会での多数を背景に、あらゆる分野で危険な暴走を始めています。

バブルと投機をあおる「アベノミクス」、消費税増税と社会保障切り捨て、雇用のルール破壊、原発の再稼働と輸出、TPP（環太平洋連携協定）交渉参加、憲法改悪の企て、そして過去の侵略戦争の肯定・美化——この安倍政権の暴走にストップをかけ、国民の願いにこたえる抜本的対策を示しているのが日本共産党です。

国民の立場で政治を動かす 日本共産党

6月の都議会議員選挙では、自民党政治を変えたいという願いを託していただき、日本共産党の議席が倍増しました。いよいよ参議院選挙です。暴走する自民党と、これを許さず

国民の願いにこたえる日本共産党との“自共対決”の選挙です。

埼玉選挙区で、「憲法をまもり、暮らしに生かす議席」「原発ゼロの議席」を、伊藤岳にお寄せ下さい。

“政権に対峙する迫力”

共産党の戦いぶりにマスコミも注目

「共産党が議席を大きく増やしたことは注目に値する」「政権に対峙(たいじ)する迫力が必要なのは、都議選での共産党の戦いぶりを見ても明らかだ」(6月24日付「朝日」社説)

「(共産党は) 主要な政策テーマで自民党との対決色を鮮明に打ち出した結果、大幅に議席を積み増した」(6月24日付「東京」)

伊藤岳の選挙公約もご覧ください(ウラ面)

証紙

比例代表は日本共産党とお書きください

参議院埼玉選挙区個人ビラ 頒布責任者/荻原初男 熊谷市中奈良2129-1 印刷者/株式会社 東京都江東区辰巳2-8-21

伊藤岳HP

www.jcp-voice.jp/saitama/pc/index.html



経済

消費税増税ストップ
所得を増やし景気回復を。
大企業の内部留保の一部を賃上げと雇用に。

原発

即時「原発ゼロ」
の決断を。
再生可能エネルギーに大胆に転換を。

外交

TPP交渉参加撤回を。
農業の再生と経済主権の確立を。



憲法9条による
平和外交を。

96条の改憲に反対し、立憲主義をまもる。

憲法

社会保障を再生し、
充実を。

年金・介護の切りすてを許しません。

福祉

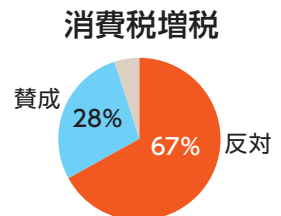
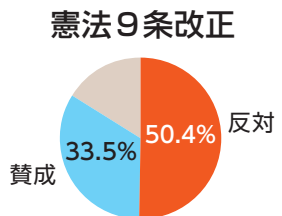
そして

保育園と特養ホームの待機児(者)ゼロ。
医師不足解消へ、県立大学に医学部を。

憲法をまもり、政治に生かして5つの改革に取り組みます。

日本共産党 伊藤岳の5つの改革提言

世論は、憲法9条改定にも、
消費税増税にも **反対が多数**



「共同」世論調査
(埼玉新聞6月24日付)より

「朝日」世論調査
(6月26日付)より

民主 党

3党合意で増税推進

消費税増税、原発再稼働、TPP交渉参加、沖縄への新基地押しつけなど、どれも民主党政権時代に手をつけたもの。

みんなの党

「投機とバブル」を絶賛

渡辺代表は、「投機とバブル」をおおる安倍政権の異常な金融緩和を「最良の策」と絶賛。TPP参加も強硬に主張。

維新の会

政党としての存立問われる

「慰安婦制度は必要だった」と発言した橋下氏。「侵略戦争ではない」と強弁する石原氏。時代錯誤の復古政党。

日本共産党が伸びてこそ政治は変わります